



2024年3月27日

各位

会社名 株式会社ベビーカレンダー
代表者名 代表取締役 安田 啓司
(コード番号: 7363 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 竹林 慶治
電話番号 03-6631-3600

「第33回定時株主総会資料（交付書面非記載事項）」の一部訂正について

2024年3月7日付で当社ウェブサイトに掲載した「第33回定時株主総会資料（電子提供措置事項のうち法令及び定款に基づく書面交付請求による交付書面に記載しない事項）」の記載事項の一部に追加事項がありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

なお、当社ウェブサイトに掲載の「第33回定時株主総会資料（電子提供措置事項のうち法令及び定款に基づく書面交付請求による交付書面に記載しない事項）」は下記の訂正を反映しております。

1. 訂正箇所

「第33回定時株主総会資料（電子提供措置事項のうち法令及び定款に基づく書面交付請求による交付書面に記載しない事項）」9ページ
個別注記表 3. 会計上の見積りに関する注記（事業譲受により発生したのれん及び無形資産の評価）

2. 訂正内容（訂正箇所に下線を付しております。）

【訂正前】

（新設）

【訂正後】

（事業譲受により発生したのれん及び無形資産の評価）

（1）当事業年度の計算書類に計上した金額

のれん	38,354千円
顧客関連資産	16,446千円
契約関連資産	42,556千円

（2）会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

事業譲受の取得対価の決定に当たっては、外部の専門家による事業価値算定の結果を利用しており、当該事業価値は事業計画を基礎として見積った将来キャッシュ・フローを現在価値に割り引く評価技法を用いております。

そして、事業譲受を実施した際に識別したのれん及び無形資産については、その効果の及ぶ期間のうち既に経過した年数について償却した残額を貸借対照表に計上しております。

また、減損の兆候があると認められる場合には、資産又は資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失を認識するかどうかの判定を行っております。

なお、割引前将来キャッシュ・フローは事業計画を基礎としており、売上高の将来予測についてはページビュー数を主要な仮定として使用しております。

将来の不確実な経済状況および会社の経営状況の変化により、評価の前提とした主要な仮定に変更が生じた場合、翌事業年度以降の計算書類に重要な影響を与える可能性があります。

以上